

市民

による小田原市議会ニュース

創刊号

2009/9/17

小田原市議会を考える市民の会

代表 平野 茂樹

連絡先 47-0605(小泉)

時代が大きく変わり始めました。世界的な経済不況のさなか、変革（チェンジ）の大波がアメリカからいよいよ日本へ打ちよせました。

先の衆議院選挙にて、国民の政治に対する高い関心と行動によって、70%近い投票率と歴史的な大変化が起こりました。

地方分権も選挙の争点になっていて、今後益々加速することでしょう。

南足柄市文化会館 閉館へ (法人市民税収の大幅減にて)

9/3の各紙朝刊にて、南足柄市が文化会館を平成23年4月より閉館する予定（2つの公民館も）と発表しました。当然夕張市ほどではないにしても、様々な行政サービスも低下するのではないかと考えられます。

突然のことで驚きましたが、小田原市にとっても対岸の火事だとは言えないでしょう。税金の無駄遣いをなくし、生きた遣い方をしないと小田原市も危ないです。

そういえば、2市8町の合併の話もありましたが…。

「小田原市議会を考える市民の会」発足！

あのマザーテレサは、「愛の反対は、憎しみではなく無関心である。」と言いました。前回の市議会選挙の投票率は、50%を割りました。市政の最高決定機関は、市議会なのです。今こそ市政に関心を持ちましょう。地域の暮らし、環境、子どもたちの将来に直結するのが市政です。この厳しい世の中を乗り越えるために、助け合い、支え合うまち創りが求められています。



私たちはあまりにも市議会のことを知らなかったと反省しました。小田原市民にとって理想的な市議会とは、老若男女、それぞれの立場を超えて、一緒に学び考えて行こうと本会が発足いたしました。

皆さまのご理解とお力添えをいただき、小田原がより良くなりますことを心より願っております。

《議会を考えるための、先進事例からの学習会》

10月1日（木）13:30~15:30 マロニエ202

全国から大勢の視察団が訪れている栗山町の議会基本条例に学び、皆さまとより良い議会について考え、今後この会が取り組むべきことについて話し合いたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

議員個人の政治姿勢、考え方を 知りたいと思いませんか？

選挙が終わると、各議員がどのような政治活動をしているか、なかなか分かりにくいのが現状ではないでしょうか。

小田原市では、議会報告会を開いている議員も少ないです。各議員がどの議案に賛成したのか反対したのかも傍聴に行かない限り知ることができません。議事録にも賛成多数と書いてあるだけで、誰が賛成なのか議員名は記録されません。インターネット中継をしていますが、賛否は非常にわかりにくい画面です。しかし、2市8町の中でこのように各議員の議案に対する賛否の公開を決めていないのは、実は小田原市だけなのです。ただ、小田原市議会も平成21年7月に発足した議会改革検討委員会で初めて賛否の公開が検討項目になったので、今後に期待したいと思います。

【2市8町での賛否の公開状況】

	小田原市	南足柄市	山北町	大井町	開成町	真鶴町	湯河原町	松田町	中井町	箱根町
公開	×	○	○	○	○	○	○	○	○*1	○*2

*1 事務局が各議員の賛否を把握しているので、町民が問い合わせれば、教えてくれる状態。

*2 議会基本条例を作り、その中に賛否の公開を入れることを検討している。

〈公開を求める2回の陳情…否決〉

約2年前から「麦の会」というグループが「議員の議案に対する賛否の公開を求める」活動をしてきました。平成19年に陳情が否決。その後、市民3,248名の署名を添え、平成21年2月17日に陳情し、5月29日に審議され、下記のように否決されました。

(アイウエオ順)

公開賛成 8名 木村信市・佐々木ナオミ・杉山三郎・関野隆司・田中利恵子
原田敏司・檜山智子・安野裕子 の各議員

公開反対 18名 相澤博・飯山茂雄・井原義雄・今村洋一・植田理都子・大村学
奥山孝二郎・加藤仁司・小松久信・志澤清・鈴木美伸・武松忠
俵鋼太郎・細田常夫・掘村逸郎・三廻部周雄・谷神久雄
横田八郎 の各議員

(大野眞一議員は、議長なので採決に加わらなかった。)

議員の反対理由 (一部)

1. 賛否の結果のみの公開だと、議論の経過が明らかでないので市民に誤解を与えることがあるから。
2. インターネット中継・議会傍聴・議事録(約3ヶ月後)の公開などができるので、これ以上の情報公開は不要。